

学位論文審査基準

〈文学研究科〉

修士論文の審査基準

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究を踏まえ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
論旨が一貫しており、議論がつくされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 当該専攻分野に関する学術的価値
当該専攻分野の研究として、学術的な価値があると認められること。
- (7) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整えられ、分量も妥当であること。

博士論文の審査基準（課程博士）

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究を踏まえ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
論旨が一貫しており、議論がつくされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 社会や学会等への貢献
将来にわたって社会や学会への貢献が期待され、当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。
- (7) 今後の課題及び展望の展示
当該研究テーマについて、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。
- (8) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整えられ、分量も妥当であること。

博士論文の審査基準（論文博士）

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究を踏まえ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。

- (3) 論文構成の妥当性
論旨が一貫しており、議論がつくされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 社会や学会等への貢献
社会や学会への貢献が期待され、当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。
- (7) 今後の課題及び展望の展示
当該研究テーマについて、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。
- (8) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整えられ、分量も妥当であること。

〈発達教育学研究科〉

修士論文の審査基準

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 当該専攻分野に関する学術的価値
- (7) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。

博士論文の審査基準（課程博士）

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 社会又は学会等への貢献
社会への貢献が期待され、または当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。
- (7) 今後の課題及び展望の展示

当該研究について、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。

(8) 体裁

引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。

博士論文の審査基準（論文博士）

(1) 研究テーマ・問題設定の妥当性

研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。

(2) 研究方法の妥当性

研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。

(3) 論文構成の妥当性

一貫性のある論旨展開がなされていること。

(4) 結論の妥当性

結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。

(5) 独創性

研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。

(6) 社会又は学会等への貢献

社会への貢献が期待され、または当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。

(7) 今後の課題及び展望の展示

当該研究について、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。

(8) 体裁

引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。

〈家政学研究科〉

修士論文の審査基準

(1) 研究テーマ・問題設定の妥当性

研究テーマ及び問題設定に、学術的・芸術的及び社会的・文化的意義が認められること。

(2) 研究方法の妥当性

研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。

(3) 論文構成の妥当性

一貫性のある論旨展開がなされていること。

(4) 結論の妥当性

結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。

(5) 独創性・創造性

研究テーマ及び問題設定、分析方法、総合化手法、結論等に独創性または創造性が認められること。

(6) 当該専攻分野に関する学術的価値

専攻分野にかかわる学会や社会で学術的・社会的・芸術的・文化的価値が認められること。

(7) 体裁

引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、妥当であること。

博士論文の審査基準（課程博士）

(1) 研究テーマ・問題設定の妥当性

研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。

- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 社会又は学会等への貢献
社会への貢献が期待され、または当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。
- (7) 今後の課題及び展望の展示
当該研究について、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。
- (8) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、妥当であること。

博士論文の審査基準（論文博士）

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 論文の完結性
研究テーマの問題として提示された課題に対する解答が完結・完了していること。
- (7) 社会又は学会等への貢献
社会への貢献が期待され、または当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。
- (8) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、妥当であること。

〈現代社会研究科〉

修士論文の審査基準

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性

結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。

- (5) 独創性
問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 当該専攻分野に関する学術的価値
既存の研究に独自の知見を加えるものであること。
- (7) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。

博士論文の審査基準（課程博士）

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 社会又は学会等への貢献
社会への貢献が期待され、または当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること。
- (7) 今後の課題及び展望の展示
当該研究について、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。
- (8) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。

博士論文の審査基準（論文博士）

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
結論がそれまでの展開を踏まえて論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 社会又は学会等への貢献
社会への多大な貢献が期待され、または当該研究領域の発展に顕著に貢献する学術的価値が認められること。
- (7) 今後の課題及び展望の展示
当該研究について、残された課題や今後の展望が的確に示されていること。
- (8) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。

〈法学研究科〉

修士論文の審査基準

- (1) 研究テーマ・問題設定の妥当性
研究テーマ及び問題設定に、学術的及び社会的意義が認められること。
- (2) 研究方法の妥当性
研究テーマについて、適切に先行研究と関連づけつつ、問題設定にふさわしい研究方法を実践しており、研究資料・データの取り扱いが妥当であること。
- (3) 論文構成の妥当性
一貫性のある論旨展開がなされていること。
- (4) 結論の妥当性
それまでの展開を踏まえて結論が論理的かつ明確に導き出されていること。
- (5) 独創性
問題設定、分析方法、結論等に独創性が認められること。
- (6) 当該専攻分野に関する学術的価値
既存の研究に独自の知見を加えるものであること。
- (7) 体裁
引用等が適切に処理され、学位論文としての体裁が整い、分量的にも妥当であること。